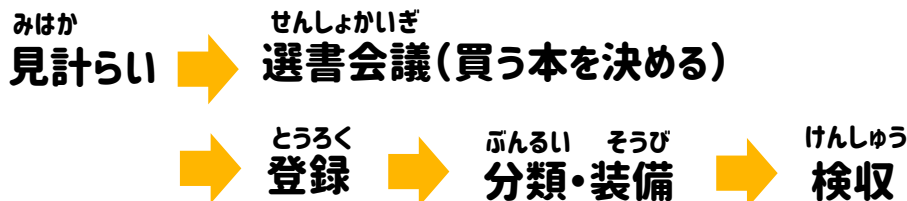




# 『1冊の本が本棚に並ぶまで①』



## 1冊の本に並ぶまで



## 予算と選書について



## 1年にどのくらい本を買うの

去年(2018年)に出版された本

7万2千点くらい

一般書(大人の本) ...

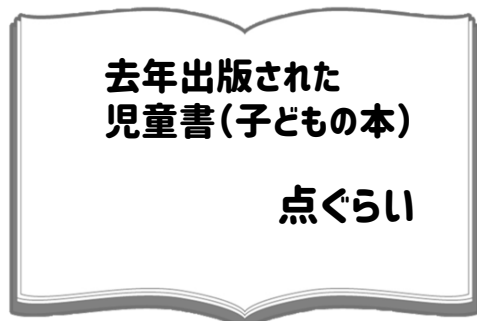
点くらい

児童書(子どもの本) ...

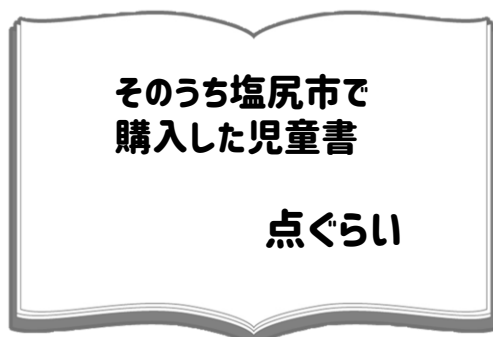
点くらい

学習参考書...

点くらい



**¥** 予算



去年よりも前の本を買ったり、買い替えたりしているので実際に購入してる冊数はもっと多いです。



## 本の情報を手にいれる方法

1. 本のカatalog(全点案内)を見る
2. 出版社から来る新刊紹介のチラシ
3. 新聞・雑誌などの書評
4. <sup>みはか</sup>見計らい(実際の本を見ること)



1冊1冊、実際の本を見る

<sup>みはか</sup>  
**見計らい**

塩尻市立図書館の児童書は  
**約80%**が「見計らい」で  
選書されています。



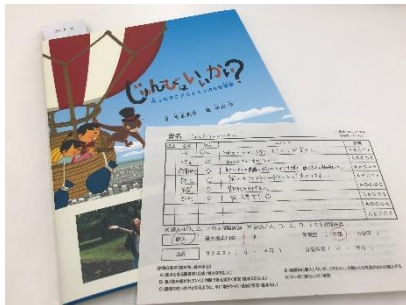
## 見計らい・選書のながれ



本屋さんから1週間分の本が届く。



1週間かけて“見計らい”をする。



「見計らい用紙」に評価やコメントを書きます。



評価やコメントをみながら「選書会議」をします。



## 収集方針と選択基準

しりょうしゅうしゅうほうしん

### 「資料収集方針」

うちの図書館はこういう図書館をめざしています。  
そのためにこういう資料を集めますという方針。

しりょうせんたくきじゆん

### 「資料選択基準」

資料収集方針をもとにして、細かく、  
具体的な選ぶ基準が書かれているもの。

## 選書する時の注意点とルール

1. 予算がある
2. 本を選ぶ方針や基準がある
3. ひとりの意見ではなく  
何人かで考えたり話し合う



「図書館に入れない本  
=悪い本」ではない。

それぞれの図書館の  
方針や基準合わせて、  
どの本が必要か、必要ないか  
予算のなかでどの本を  
選ぶかを判断しています。

## 「みなさんが選書した本は図書館の本になる」

今回、みなさんが選んだ本は、実際に図書館の予算で購入し、  
図書館の蔵書として棚に並びます。何十年もずっと図書館に残ります。

## 見計らいをしよう!



予算：10,000円

10000

### 今回の選書基準

1. 小学校5・6年生または中学生が調べやすい本
2. クラスメイトにおすすめしたい本
3. 塩尻市立図書館に必要だと思う本

## 選書会議のやりかた

1. 1冊ずつ「選ぶ」「選ばない」を考える。
2. 意見が分かれたら、話し合う。
3. 予算のなかで、どの本を選ぶか決める。

次回のめざせ！図書館マスター第5回目は、

9月29日（日） 「1冊の本が本棚に並ぶまで②」（実習）  
時間：10：00～12：00 会場：304

# 用語解説

- 予 算（よさん）：あらかじめ定められた金額
- 出 版（しゅっぱん）  
：図書、新聞、雑誌などを印刷して世の中に出すこと。
- 児童書（じどうしょ）：赤ちゃんから中学生にむけて作られた本
- 一般書（いっぱんしょ）：児童書以外の本
- 現 物（げんぶつ）：じっさいのもの（本）
- 新 刊（しんかん）：新しく出版されること
- 書 評（しょひょう）  
：本の内容や書いた人の情報から、  
その本がどういう本か評価をして文章にしたもの
- 選 書（せんしょ）：本をえらぶこと
- 見計らい（みはからい）：現物をみて、選書をする事
- 選書会議（せんしょかいぎ）  
：一人一人の見計らいをもとに、複数人で集まって  
図書館に入れるか入れないかの判断をおこなう会議のこと
- 資料収集方針（しりょうしゅうしゅうほうしん）  
：収集する資料についての基本的な考えを文章にしたもの。  
「うちの図書館ではこういう図書館を目指しているので、  
こんな資料を置きますよ」ということが書かれている。
- 資料選択基準（しりょうせんたくきじゅん）  
：資料収集方針をもとにして、どんな基準で本を選ぶのかを  
細かく決めている。
- 検収（けんしゅう）  
：図書館で入れる本の状態がおかしくないかや、登録された  
本の内容が、実際のものとは間違っていないか調べる事。